

「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ

(令和4年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ)

— 6月23日～29日は男女共同参画週間です —

国では、毎年6月23日から29日までの一週間を「男女共同参画週間」としています。

性別にかかわらず、誰もが職場や学校、家庭、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現のために、私たち一人一人にできることは何か、この機会に考えてみませんか。

●なぜ男女共同参画は必要なの？

人口減少や少子高齢化の進行、ライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く社会環境が大きく変化している中で、「男は仕事、女性は家庭」といった性別による固定的な役割分担にとらわれず、男女がともに支え合い、あらゆる分野でそれぞれの個性と能力が発揮できるような社会づくりが必要となっています。



●一人ひとりにできること

日常の中で、いつの間にか「これは女性の仕事」「男性がやるべきこと」など決めつけていませんか。

女性も男性も自分らしくいきいきと暮らせる社会を実現するためには、まず一人一人が日常当たり前だと思っている「無意識の思い込み」に気づくことが大切です。

あなたの「無意識の思い込み」をチェック！

下記のチェック項目は、内閣府が行った調査の中で、男女ともに性別による役割意識として「自分自身が思い込んでいた」ものや、「他の人に思い込みで決めつけられた経験がある」とする上位共通の項目です。皆さんにもこのような「無意識の思い込み」はありませんか？

— 性別による無意識の思い込み チェックシート —

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 男性は仕事をして家計を支えるべきだ | <input type="checkbox"/> 家事・育児は女性がするべきだ |
| <input type="checkbox"/> 男性は結婚して家庭をもって一人前だ | <input type="checkbox"/> 女性は感情的になりやすい |
| <input type="checkbox"/> 女性には女性らしい感性があるものだ | <input type="checkbox"/> 家を継ぐのは男性であるべきだ |
| <input type="checkbox"/> 受付、接客・応対（お茶出しなど）は女性の仕事だ | |
| <input type="checkbox"/> デートや食事のお金は男性が負担すべきだ | |
| <input type="checkbox"/> 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない | |
| <input type="checkbox"/> 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ | |



(参考：内閣府男女共同参画局

「令和3年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」)

これらの性別による無意識の思い込みはまだ根強く、それに基づく働き方や慣習・慣行がさまざまな場面でみられます。まずは、一人でも多くの人があることに気づくことが、性別にかかわらず誰もが輝くことのできる男女共同参画社会を実現する第一歩です。

☎ 総務課秘書係 ☎78-3113